ひらつか市民活動センター運営業務委託中間報告書

1 実施業務

ひらつか市民活動センターの設置及び管理等に関する条例及び施行規則に基づき、ひらつか市民活動センター（以下、「センター」という。）の管理等に関する業務全般を行った。

主な実施業務は次のとおり。

(1) 市民活動推進のための施設及び設備を利用に供すること。

ア センターを利用するものの利用承認に関する業務

【新規登録件数】

市民活動団体	9 団体
一般団体	5 団体

イ センターの会議室、特定設備及びレターケース等の利用承認に関する業務

【会議室等利用状況】

項目	区分	2024 (R6) 年度				2023 (R5) 年度				前年差	増減率
		午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体		
団体数	会議室	426	429	290	1,145	385	425	321	1,131	14	101.2%
	MTG	334	408	131	873	302	452	117	871	2	100.2%
	情報	26	28	6	60	22	18	13	53	7	113.2%
	作業	76	51	4	131	71	56	3	130	1	100.8%
	合計	862	916	431	2,209	780	951	454	2,185	24	101.1%
利用人数	会議室	4,539	4,839	2,686	12,064	3,764	4,221	2,568	10,553	1,511	114.3%
	MTG	1,350	1,616	379	3,345	1,379	1,697	389	3,465	▲ 120	96.5%
	情報	36	35	6	77	25	24	16	65	12	118.5%
	作業	175	93	11	279	185	100	4	289	▲ 10	96.5%
	キッズ	15	18		33	14	4	1	19	14	173.7%
	合計	6,115	6,601	3,082	15,798	5,367	6,046	2,978	14,391	1,407	109.8%

【会議室の稼働率】

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期
2024年度	79.3%	69.5%	78.5%	81.5%	53.4%	72.2%	72.0%
2023年度	77.4%	67.4%	74.8%	77.0%	59.5%	72.2%	71.1%

＜施設利用状況の概況＞

利用団体数は前年度上期比 101.1%、利用人数は 109.8% となった。

- ・第一四半期：前年度比、利用団体数は 99.7%、利用人数は 110.1% の伸び率
- ・第二四半期：前年度比、利用団体数は 102.9%、利用人数は 109.5% の伸び率となっており、利用人数の伸び率が顕著である。

会議室の稼働率は、全体で 72.0%（前年上期 71.1%）であり、時間帯別でみると午前 80.2%(72.5%)・午後 81.3%（80.5%）・夜間 54.6%（60.5%）となった。

会議室の利用実績については、市民活動登録 319 団体の内 130 団体が 1 回以上利用（40.7%）、一般団体登録 115 団体の内 30 団体が 1 回以上利用（26.1%）している。

【特定設備利用件数】

ロッカー小・小別	39 個／40 個
ロッカー大	18 個／18 個

【レターケース利用件数】

レターケース	72 個／81 個

ウ センターを利用するものが、センターに設置する印刷機、複写機及びプリンターを使用した場合の使用料、並びに、たすけ愛文庫等の寄附金の収納（徴収）業務

【実施実績】 毎月提出済み

【収納額】

	印刷機	複写機（コピー機）	プリンター	たすけ愛文庫等の寄附金
4 月	23,160 円	17,430 円	4,210 円	17,230 円
5 月	16,960 円	13,100 円	600 円	13,518 円
6 月	17,990 円	11,560 円	450 円	10,220 円
7 月	13,790 円	14,690 円	1,060 円	11,661 円
8 月	9,400 円	8,250 円	20 円	9,330 円
9 月	25,310 円	15,450 円	2,310 円	14,250 円

(2) 市民活動に関する情報を収集し、及び提供すること。

ア Web サイト・メールマガジン・SNS 等による情報発信

【Web サイト】①トピックス（センターの開館及び会議室の利用状況に関する情報、市民向け講座等の情報、平塚市情報等の掲載、

②イベント情報（市民活動団体イベント情報） ③助成金情報

④ボランティア情報 ⑤イベント開催レポート（センター主催事業の報告等）

⑥ひらつかの風（適宜）

・活動センターWeb サイト 2024 年 9 月末までアクセス状況

▼計測期間：R6 年度 2024/4/1～2024/9/30（183 日）

▼比較期間：前年同時期 2023/4/1～2023/9/30（183 日）

▼ページビュー数（期間中に閲覧されたページの数）

今期：17,959回 1日あたり：98.1 ページ

前期：16,594回 1日あたり：90.6 ページ

▼年間ユーザー数（1年間にサイトに訪れた人数）

今期：13,044人 1日あたり：71.2人

前期：11,004人 1日あたり：60.1人

【メールマガジン】毎月10日発行（4月～9月まで6回発行）（239号/9月発行）

登録数：398名

【SNS等による】別紙「ソーシャルメディア利用申請書」のとおり。

▼Facebook：フォロワー353人、「いいね！」321件

（参考：令和5年9月末331人、「いいね！」308件）

▼YouTube：登録者数91人（参考：令和5年9月末64人）

イ 情報紙の発行（年6回／隔月発行）

【ひらつかの風（情報紙）発行】

別紙「ひらつかの風第38、39、40号」のとおり。

第38号	5月15日発行
第39号	7月15日発行
第40号	9月15日発行

(3) 市民活動に関する調査及び研究を行うこと。

ア センターを利用するものへのアンケート調査（結果の分析を含む）（年1回）

- ・防災座談会開催に向けて、昨年度実施したアンケート調査結果から「災害時に協力出来るようなこと」と回答した40団体にアンケートを実施した。（別紙参照）
- ・例年12月に実施していたアンケート調査については現在項目の見直しを検討中。

(4) 市民活動に関する相談を行うこと。

ア 市民等からの次の相談を行い、相談記録を作成すること。

【相談記録】 別紙のとおり

【相談件数】

相談件数	118件
（内専門相談）	59件/118件

【相談内訳】

一般相談			
項目	2024年度	2023年度	前年差
ボランティア関連	8	1	7
市民活動団体を知りたい	7	7	
センター登録関係	3	8	▲5
団体をつくりたい	1	1	
NPO法人を設立したい	1	4	▲3
助成金に関する相談	1		1
組織運営に関する相談(運営・会計・広報・他)	1	1	
協働に関する相談			
その他	11	19	▲8
団体登録に関する相談	23	4	19
フォロー	3	2	1
合計	59	47	12

【専門相談】

専門相談			
項目	2024年度	2023年度	前年差
資金調達	4	2	2
組織運営	5	4	1
情報・広報	4		4
法人設立	6	4	2
会計・税務	7	15	▲8
連携・協働	6	3	3
その他	18	14	4
フォロー	9	13	▲4
合計	59	55	4
一般相談+専門相談	118	102	16

(5) 市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行うものの相互交流の機会を提供すること。

ア 市民等向け講座の実施（年7回）

【市民向け講座 3回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
ファンドレイジング講座 講師：徳永洋子氏 ファンドレイジング・ラボ代表 日本ファンドレイジング協会理事	7月20日（土） 14:00~16:30	11団体・11人、個人・0人 スタッフ・6人 合計・17人

協働をテーマにした団体応援講座 団体の活動を見つめ直し未来を描く ～協働から生まれるまちづくり～ 全3回 講師 第1回 米元 洋次 氏 合同会社 Active Learners 第2回 椎野 修平 氏 日本 NPO センター特別研究員 第3回 山之内 凜太郎 氏 合同会社 Active Learners	第1回 9月21日(土) 14:00~16:00 第2回 10月5日(土) 14:00~16:00 第3回 10月27日(日) 14:00~16:00	第1回 6団体・13人 スタッフ5人 平塚市・2人 合計・20人 第2回 7団体・15人 個人・1人 スタッフ5人 平塚市・3人 合計・24人 第3回
広報力UP講座 全2回 講師：北原まどか氏 認定NPO法人森ノオト理事長	9月30日(金) 14:00~16:30	7団体・10人、平塚市・1人 スタッフ・4人 合計・15人

イ センターを利用するもの同士の交流会の実施（年1回）

講座名・講師等	実施日	参加者数
支援者間交流会 講師：内田英子氏 平塚市社会福祉協議会	6月20日(木) 14:00~16:30	8団体・9人、 他支援施設・11団体・13名 スタッフ・4人 合計・26人
防災座談会 事例紹介：芦川好宏氏 平塚市社会福祉協議会	9月29日(日) 13:30~16:00	8団体・20人、他団体・2名 個人・1人、災害対策課・1名 学生・4人 スタッフ・6人 合計・34人

ウ 市民活動の普及のためのイベントの実施（年1回→2回）

【ひらつか市民活動センターまっりの進捗状況】

実施内容	実施日	参加者数	決定事項
実行委員会発足	6月14日(金)	14団体・14人	
第1回実行委員会	6月14日(金) 18:00~19:30	11団体・11人 協働推進課・3人 スタッフ・6人 合計・20人	*実行委員長、副実行委員長の選任。 *開催日時、参加団体数、委員会日程の確認。
第2回実行委員会	7月12日(金) 18:00~19:30	12団体・12人 協働推進課・3人	*出展団体募集状況 *実行委員会企画、子ど

		スタッフ・5人 合計・20人	も向け企画。*寄附金募集提案、*チラシ大賞
第3回実行委員会	8月9日(金) 18:00~19:30	10団体・10人 協働推進課・3人 スタッフ・6人 合計・19人	*参加団体確定(54団体) *会場レイアウト *実行委員会企画 *今後のスケジュール
第4回実行委員会	9月13日(金) 18:00~19:30	11団体・12人 協働推進課・2人 スタッフ・6人 合計・20人	*会場レイアウト、備品の確認 *実行委員会企画 *缶バッジづくり日程 *ぬり絵・寄附金依頼
実行委員会協力協力 *缶バッジ・ガーランド(館内飾り)づくり	9月21日(土) 10:00~12:00 9月27日(金) 13:00~16:20	3名 缶バッジ440個作成 3名 ガーランド作成	*缶バッジは27日午前中にも不足分を作成協力有り(1名)
備考	・チラシ大賞募集 ・川柳大賞募集 ・市内幼稚園、保育園児によるセンターマスコット「たすけくんとあいちゃん」のぬり絵の展示 ・崇善小学校マーチングバンドによる演奏(オープニング) ・事務局会議 4/8(月) 6/5(水) 7/10(水) 8/2(金) 9/5(木)		

【ひらつか市民活動センターまつりの実施】・・・予定

実施日	参加者数	実施内容
11月24日(日) 10:00~15:00		

エ 特定非営利活動法人の会計・税務相談会の実施(年1回)

【会計・税務相談会 1回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
会計・税務相談会 徳永、小原税理士	12月~1月にかけて て予定	

(6) 市民活動に係る人材の育成を行うこと。

ア 若者のボランティア参加を促進する事業の実施(年1回)

【こどもわくわくフェスタ2024】

市民活動・地域活動への新たな担い手育成と市民活動団体のノウハウや専門性のPRを目的として実施した。令和5年度に第1回を実施した際、地域ニーズの高さに手応えを感じ2回目の開催に至った。参加者は低学年、未就学児及びその保護者（30～40代）で、子どもはもとより保護者のボランティア活動や市民活動に対する関心度も高く、新たな市民活動への参画も期待できる。

＊崇善公民館との共催事業

実施日	参加者数	実施内容
7月27日（土） 10：00～14：30	来場者数：1,886人 出展団体：18団体 （内ゲスト・2団体） 江陽中学校科学部 UD DANCE SCHOOL	4月26日（金）18：00～19：30 参加団体説明会・10団体参加 7月26日（金）15：00～17：00 前日準備 7月27日（土）8：45～15：00 施設全体を活用して開催

イ 市民の市民活動参加を促進する事業の実施（年1回）

【市民の市民活動参加を促進する事業 1回実施】

＊下期に実施予定

（7）その他市民活動の推進に関すること。

ア 市との情報共有（センター運営状況の報告等）（毎月1回）

令和6年度より市との情報共有の仕組みを検討、センタースタッフミーティング（毎月1回及び各種事業別ミーティングを適宜実施。市との情報共有は湘南NPOサポートセンター理事会とで実施し、議題はセンター運営の他、市民活動支援・協働の推進など重要項目について話し合うこととした。

そのことによりスタッフ内の業務に関する意思疎通が深まり、また市との打合せでは市民活動支援について踏み込んだ意見交換が出来るようになった。

【スタッフ内部ミーティングの実施 6回】別紙「スタッフミーティング議事録」のとおり。

4月	4月5日(金)
5月	5月8日(水)
6月	6月5日(水)
7月	7月2日(火)
8月	8月2日(金)
9月	9月5日(木)

イ【市との会議（センター運営に関する法人理事会との打合せ）】

5月	5月24日(金)
8月	8月2日(金)

ウ センターの清潔さの維持のための最低限の清掃

【随時実施】

エ その他、市が参加を必要とした関係機関等のイベントなどへの参加（1～3回を想定）

予定【10月12日(土) TOKAI グローカルフェスタ出展：東海大学湘南校舎】

2 業務内容を履行するための要件に対する対応

(1) 常時2名をセンターに配置すること。

ただし、業務内容に応じて必要最小限の範囲で増員可能とする。

- ・常時2名をセンターに配置し、業務内容に応じ増員をした
- ・湘南ひらつか七夕まつり開催に伴い、令和6年7月3日(水)午前9時から7月8日(月)17時までの期間を休館とした。

(2) ひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営すること。

なお、市と協議のうえ、市民の利便性向上に努めること。

- ・適切にひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営した。
- ・市民活動団体情報ファイルを団体自身が編集できるよう継続してサポートを行っている。

(3) センターは、平塚市立崇善公民館との複合施設であるため、同館との連携・調整をすること。

【相互利用実績】

崇善公民館→センター		上期
団体数	2024年度	18
	2023年度	27
利用人数	2024年度	332
	2023年度	450
センター→崇善公民館		上期
団体数	2024年度	76
	2023年度	68
利用人数	2024年度	608
	2023年度	567

(4) 必要に応じて関係機関や専門家等との連携・調整をすること。

※関係機関とは、公共団体、教育機関、他センター、社会福祉協議会、法人などをいう。

【関係機関や専門家との連携実績】

関係機関名・専門家	実施日	連携・調整内容
神奈川県ボランティア基金 21 団体成長支援事業（2年目） 主催:NPO 法人森ノオト パブリックリレーションズ・サ ポートプログラム *アドバイザーとして参画	・8月8日(木) 13:00~16:00 ・9月11日(水) 13:00~16:00 ・2月28日(金) 14:00~17:00	広報力を高めたい団体（エントリー 10団体）の伴走支援プログラム 《アドバイザーとして協力》 ・横浜市民協働センター ・かわさき市民活動センター ・ひらつか市民活動センター *契約：湘南 NPO サポートセンター
神奈川県「かながわ NPO 伴走 支援プログラム」（受託団体： （一社）ソーシャルコーディネート かながわ） *伴走支援団体として参画 1.鎌倉市市民活動センター 2.アクションポート横浜 3.かわさき市民活動センター 4.ぐらすかわさき 5.ひらつか市民活動センター 6.横須賀市市民活動サポート センター 7.三浦市民交流センター 8.とつか区民活動センター 9.座間市民活動サポートセン ター 10.藤沢市民活動推進機構 11.まちラボ 12.ソーシャルコーディネート かながわ	①7月4日(木) 10:00~12:00 ②8月1日(木) 10:00~12:00 ③8月23日(金) 13:30~16:00 ④9月17日(火) 13:30~15:30 ⑤10月9日(水) 11:00~12:00	かながわ NPO 伴走支援プログラム *契約：湘南 NPO サポートセンター ① 第1回サポーター会議 ② 第2回サポーター会議 ③ 全体会（キックオフミーティン グ）エントリー団体13団体/伴走 支援サポーター12支援センター *支援団体との顔合せ ④支援団体代表との打合せ ⑤支援団体理事・会員との打合せ
神奈川県「NPO・企業・大学 とのパートナーシップミーテ ィング事業」	令和7年1月23日 (木) 予定	神奈川県・平塚市・大磯町・二宮町 との連携によって協働開催する。 (令和5年度に続いて2回目) *契約：湘南 NPO サポートセンター
平塚市社会福祉協議会との連 携	ボランティア情報、活動団体の情報提供、防災連携(*1)、重 層的支援体制整備事業(*2)、等適宜情報交換を行った。	

	(*1)防災座談会 (*2)支援者間交流会
包括支援センターゆりのきとの連携	地域福祉に関する情報の共有、相談内容（個人情報省く）の共有など、適宜情報交換を行った。
崇善公民館、崇善地区自治会連合会との連携	崇善公民館との連携による会議室の相互利用、事業の共同開催、協力。崇自連との情報交換、地域課題の共有適宜
神奈川県内の支援センターとの連携	神奈川県主催の CEO ミーティングの他、各支援センター間で必要に応じて情報交換を実施した。 ・令和 6 年度神奈川県 CEO ミーティング 9 月 26 日（木）14：00～17：00

3 事業総括

【自由記述】

(1) センター登録団体の概況

令和 6 年度 9 月末時点での登録数は市民活動 319 団体、一般 115 団体、合計 434 団体となっている。(2023 年度末比で市民活動は+2、一般団体は-19)*令和 6 年度は 3 年毎の一般団体の登録情報の見直しを行ったため登録削除の申請があったことに起因する。

市民活動団体の活動分野別での比率は、保険、医療及び福祉の増進関連が 89(27.9%)、次いで学術、文化、芸術又はスポーツの振興関連が 57 体(17.9%)、こどもの健全育成は 44 団体 (13.8%) の順である。

(2) 委託契約書による事業の進捗状況

契約書の内容に従い、市民向け講座など各事業、定期刊行物発行、協働推進課との定期的な情報共有等々、上期は遅滞なく履行できた。

(3) 人材育成（スタッフ研修）

① 初任者研修：かながわ県民活動サポートセンター

10 月下旬を予定（2 名参加）

② センター主催講座及び事業への参加

ファンレイジング講座、こどもわくわくフェスタ、団体応援講座（2 種）、支援者間交流会、防災座談会等、団体と共に参加し学ぶことで団体の現状把握、相談力向上に努めた。

③ 県の 3 つの事業（基金 21 団体成長支援事業アドバイザー会議に出席、かながわ NPO 伴走支援プログラムへの参画、神奈川県 NPO・企業・大学パートナーシップミーティング参画）によって、中間支援組織の職員としての学びを深めている。

④ 毎月行っているスタッフミーティングで、相談対応などの振り返りを実施。

(4) NPO/市民活動団体支援の現状から

- ① 特定非営利活動促進法の成立から 26 年目を迎え、団体の高齢化・事業継承はこれまで以上に深刻な課題となって増加している。一方で団体活動が思うように進まない、仲間が増えない、資金が不足しているという団体のヒヤリングを進めていくとビジョン・ミッションが不明確であるが故の悩みであることも散見される。
- ② 社会全体の課題ともいえる生活困窮世帯の増加、不登校・ひきこもり者の増加、孤立化する高齢者や支援の必要な子どもを支援する NPO/市民活動団体及び社会福祉協議会、就労支援団体の悲痛な声を聴き、6 月に支援者間交流会を開催した。想像以上に横のつながりを必要としていることを改めて実感した。*令和 7 年 2 月に第 2 回を予定（社協と共催）また、防災座談会は回を重ねることで少しずつ団体連携の必要性についての意識が高まってきている。今回は市民活動団体の連携推進と共に存在意義を高め、団体として出来ることを共有する機会となった。
ネットワークの仕組みづくりは中間支援組織の役割でもあり今後も継続する予定でいる。
- ③ 若い世代のボランティア活動や市民活動への参加の特徴は広く浅く緩くつながり、楽しいことには積極的に参加するが継続的な活動にはつながりにくい。県の CEO ミーティングで、地域に大学がない、そもそも学生がいない（みえない）という地域は、若者とのつながりをつくるのは非常に難しいという意見があった。学生が参加したくなる取り組みや仕組みをつくることを行政・企業・大学・NPO と共に考え、実践していくことが求められている。
- ④ 人生 100 年ライフを考えるとシニア世代のボランティア活動や市民活動、地域活動への参加の機会を引き続き作っていくことが必要。市民活動推進補助金のエントリー団体を見ると元気なシニア世代が活動している。このような状況を大きく PR していくことも必要であろう。

*NPO/市民活動の活性化・団体の成長支援・協働の推進を進める中で、ここ数年中間支援組織に大きな期待が寄せられている。（コーディネート・伴走支援・コンサルティング・地域活動支援、等）しかしながら、支援センターを運営している県内外の組織の課題として、スタッフを育成する資金と時間の不足が挙げられており、日々の業務の傍らで出来ることは限られるといった声も多い。（CEO ミーティング・かながわ協働推進協議会・日本 NPO センター調査結果など）

中間支援組織に課せられた課題はますます深くなっている一方で組織基盤強化・人材育成は喫緊の課題である。

以上